

もくじ ⑧は、取り付け業者様、⑨はお客様にお読みいただく意味を示しています。

もくじ	⑧・⑨ P 1
1. 安全・取り扱いに関するご注意 必ずお読み下さい	⑧・⑨ P 2~ 5
2. 本製品の特長	⑧ P 6~ 8
3. Defi-Link System 構成一覧表	⑧ P 9~10
4. 構成部品	⑧・⑨ P11~21
オプション パーツリスト	⑧・⑨ P21
使用工具一覧表	⑧ P22
5. 取り付け方法	
・メータ別警告事項	⑧ P23・24
・配線全体図	⑧ P25
・センサーの取り付け方	⑧ P26~32
・コントロールユニットⅡの配線	⑧ P33
・コントロールユニットⅡの取り付け方	⑧ P34
・メーター(φ52・60・80・115)の取り付け方	⑧ P35・36
・メーターオプションパーツ	
・シングルメータバイザー	⑧・⑨ P37
・フィッティングキット	⑧ P37
・インジケータ	⑧・⑨ P38
・取り付け最終確認項目	⑧ P39
6. 操作方法	
・各部の名称	⑧ P40
・モードの説明「リアル・モード」・「ワーニング・モード」	⑧ P41
「ピーク・モード」	⑧ P42
「ワーニング設定・モード」	⑧ P43
「リプレイ・モード」	⑧ P44
「リプレイ・モード」記録・再生	⑧ P44~46
「差圧表示・モード」	⑧ P47
「調光機能」Defi-Link Meter BFのみ	⑧ P48
・チェック機能の説明	⑧・⑨ P49
7. 故障かな?と思ったら…(トラブルシューティング)	⑧・⑨ P50・51
8. アフターサービスについて	⑧・⑨ P52
保証規定	⑧・⑨ P54
保証書	⑧・⑨ P55

1. 安全・取り扱いに関するご注意 (お客様・取り付け業者様向け)

必ずお読み下さい

本製品は、自動車のユーザーがエンジンや燃料ラインのコンディションを知る上で、重要な情報源となる追加メーターです。取り扱いについては、本取扱説明書、ならびに、取り付ける車両の取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みいただき、十分に理解された上でお使いいただきますようお願いいたします。

本取扱説明書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を、次の2つのレベルで分類しています。また、本製品を安全に、正しくお使いいただくために必ず行っていただきたい事項と守っていただきたい事項を「確認」として分類しています。

内容をよくお読みいただき、十分に理解された上でお使いください。

△ 警告

取り扱いを誤った場合、死亡、または重傷を負う恐れが想定される場合。

△ 注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負う危険が想定される場合または、物的損害のみの発生が想定される場合。

確認

「必ず行っていただきたい事」「必ず守っていただきたい事」を示しています。

① 取り付け作業をする前に (取り付け業者様向け)

必ずお読み下さい

△ 警告

- 取り付け、取扱いは必ず本書に従ってください。
- 取り付け箇所・取り付け方法は慎重に検討し、絶対に脱落しないようにしてください。誤った取り付け箇所・取り付け方法は、製品の脱落や車両破損の原因、運転の妨げとなり、大変危険です。
- 本製品を絶対に改造や分解しないでください。故障や事故の原因となるだけでなく、保証の対象外となります。
- 作業を行う時は、必ずクルマが動き出さないような措置をし、エンジンを停止してから行ってください。作業中にクルマが動きだしたり、火災の原因になり大変危険です。
- エンジン停止直後は、絶対に作業を行わないでください。エンジン停止直後は、エンジンや排気管が非常に高温になっており、火傷を負う恐れがあり大変危険です。
- 配線作業中は、必ずキーシリンダーからキーを抜き、バッテリーのマイナス(-)ターミナルをはずしてください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。
- シートベルトやエアバックなどの安全装置やエンジン、ステアリング、ブレーキなどの走行性能と直接関係する部位のハーネスの加工及び配線の接続(ネジの脱着など)は行わないでください。車両不具合による事故や火災の原因となり大変危険です。
- 必ず、既存の配線に影響が出ないような配線を行ってください。車両のコントローラーなどが破壊する恐れがあります。
- 配線の接続には、エレクトロタップかギボシを使用し、接続部の絶縁を必ず行ってください。また、配線に衝撃やテンションがかかるところは、緩衝材やコルゲートチューブなどで保護してください。ショート事故による火災の原因となり大変危険です。
- 作業中は、幼児・子供等を近づけないでください。部品等が外れて飲み込む等の恐れがあります。

② 取り付け作業をする前に (お客様向け)

必ずお読み下さい

△ 注意

- 12V仕様車専用です。24V仕様車には取り付けしないでください。
- 本製品に付属されている以外の配線などを使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、容量・強度を確認してください。
- 使用しない配線は、絶縁テープなどで完全に絶縁してください。また、取り付け時に外したり、ゆるめた部品やコネクタ、新たに配線したものなどは必ず正しく組みつけ、固定してください。
- 本製品に過大な力をかけたり、ぶつけたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
- 本製品の端子やスイッチなどに必要以上の力を加えないでください。破損の原因となります。
- 車体やネジ部などに、配線をはさみ込まないようにしてください。故障の原因となります。
- センサーは熱のこもらない場所、及び水の掛からない場所を選んで取り付けてください。センサー破損の原因となります。
- コードを強く引っ張らないでください。
- センサーやセンサーハーネスは、点火信号や無線などのノイズの発生しそうな所を避けて取り付け、配線してください。点火系などのノイズはメーター誤作動の原因となります。
- センサーハーネスは、エンジン、排気管、過給機付近には配線しないでください。センサーハーネスの破損、溶断の原因となります。
- コントロールユニットは、湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所、ヒーターの吹き出し口やその周辺には取り付けしないでください。
- エンジンルーム内で、配線を分岐する際は、防水処理を確実に行ってください。
- ハンダ付けで、火傷をしたり、配線にあたり手を切傷することがないように、手袋を着用してください。
- バッテリーのマイナス(-)ターミナルを外すと、メモリー機能を持ったオーディオや時計などの記憶内容が消去されます。作業終了後、それぞれの取扱説明書に従って、設定し直してください。

確認

- 指針が真下から動いている場合がありますが、異常ではありません。通電すれば、正常動作します。
- 製品を十分ご理解いただくために、取り付け業者様向けのページ以外のお客様向けページ (P.6~P.10, P.40~P.49) もお読みください。
- 純正部品の取付け、取外しに際しては、カーメーカー発行の整備書をご確認ください。
- 取り付け作業が終了しましたら、本取扱説明書は保証書と合わせて、必ずお客様に返却してください。

② 取り扱いに関して (お客様向け)

警告

- 本製品はお買い上げいただいた販売店またはディーラーで取り付けてください。個人でお取り付けされた場合、保証の対象外となります。
- 本製品を絶対に改造や分解しないでください。故障や事故の原因となるだけでなく保証の対象外となります。
- 走行中は安全のため、本品の情報の確認は最小限の時間にとどめ、長時間凝視しないでください。前方不注意による事故の原因となり大変危険です。
- 「メーターが動かない」などの故障状態や、「水などがかった」「煙が出た」「変なにおいがする」などの異常な状態では使用しないでください。万一そのような状態が発生しましたら、すみやかに販売店、取り付け店にご連絡ください。そのままご使用になりますと、事故や火災の原因となり大変危険です。

確認

- タコメーター以外のメーターをご購入された場合、コントロールユニットⅡの気筒数は設定しないでください。

※カブラーを抜く際は、カブラーのロックを確実に抜いてください。



5

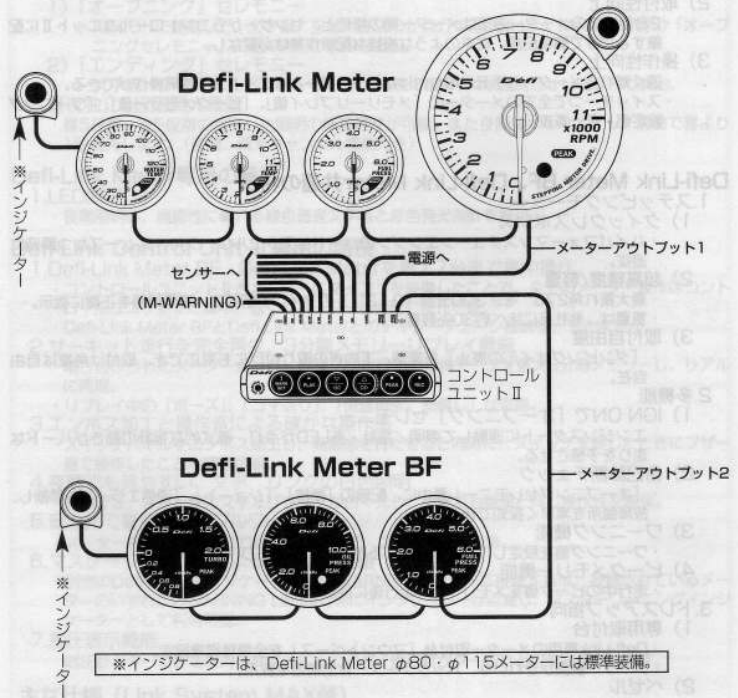
2. 本製品の特長 (お客様向け)

デジチェーン接続例

PAT No.3019067

PAT No.3019939

【図1】



6

デジチェーン接続

1) 多重通信方式

- ・ 1本のコードで「電源」、「照明」、「アース」、7台分の「メーターデータ」を送信。
- ・ Defi-Link Meter BFは、最大6台まで接続可能。
- ・ Defi-Link Meterは、最大7台まで接続可能。
- ・ Defi-Link Meter BFとDefi-Link Meterを共着する場合は、最大7台まで接続可能。
- ・ Defi-Link Meter BFとDefi-Link Meterとのデジチェーン接続は、できません。

2) 取付性向上

- ・ 2台目以降のメーター追加はメーター間の接続と、センサーからコントロールユニットⅡに配線するだけで簡単配線。従来のような複雑な配線作業は必要なし。

3) 操作性向上

- ・ 遠く離れたメーターも手元に取り付けたコントロールユニットⅡで遠隔操作ができる。
- ・ スイッチ一つで全てのメーターの「メモリーリプレイ値」、「ピークメモリー値」、「ワーニング設定値」を一斉表示。

Defi-Link Meter BF、Defi-Link Meter共通の特長

1. ステッピングモーター

- 1) クイックレスポンス
 - ・ ハイパフォーマンスエンジンエンジンのハードなアクセルワークに、スムーズかつ瞬時に追従。
- 2) 超高精度/軽量
 - ・ 最大振れ角270°を2,300分割 (0.12°) のマイコン制御で、車両情報を正確に指示。
 - ・ 重量は、他社品に比べ約30%軽量。

3) 取付自由度

- ・ 「ダンピングオイルの廃止」を実現。下向きへの取り付けにも対応でき、取付け角度は自由自在。

2. 多機能

1) IGN ONで「オープニング」セレモニー

- ・ エンジンスタートに連動して照明/指針/各LEDが点灯、儀式的な指針の動きがハードな走りを感じさせる。

2) 自己診断チェック

- ・ 「オープニングセレモニー」最中に、配線の「断線」、「ショート」、「通信エラー」を診断し、故障箇所を素早く検知できる。

3) ワーニング機能

- ・ ワーニング値を設定し、設定値を超えるとワーニングLED (赤) が点灯。

4) ピークメモリー機能

- ・ 走行中のピーク値をメモリーし、走行後に確認可能。

3. ドレスアップ指向

1) 専用取付台

- ・ Defi-Link専用のメーター取付台「マウントベース」を全機種標準設定。
- ・ メーター裏面がきれいな、バックケース一体型構造を採用。

2) ベゼル

- ・ アルミ加工のヘアライン仕上げで高級感を演出。

3) LED照明

- ・ 照明の光源に超高輝度LEDを採用。バルブ切れの心配がなく、メーター裏面のバルブ交換穴を廃止。

7

Defi-Link Meter BF専用の特長

1. IGN ONで目覚める自発光式メーター

1) LED照明

- ・ BFならではのブラックアウトされたメーターパネルが、IGN ONすると白色LEDにより、浮かび上がる。

2) 赤色発光指針

- ・ 白色発光文字板と組み合わせることで、ハイコントラストで鮮明な視認性を確保。

2. 「オープニング」、「エンディング」、2つのセレモニーで演出

1) 「オープニング」セレモニー

- ・ IGN ONに連動して、文字板/指針/各LEDが点灯するDefi-Link Meterで好評の「オープニングセレモニー」に途中消灯の演出を追加。

2) 「エンディング」セレモニー

- ・ 文字板、ワーニングLED、ピークLED、最後に指針と4段階消灯セレモニーで演出。

3. 昼夜独立5段階調光機能

- ・ 昼5段階、夜5段階の独立した照明の輝度調整が可能。また夜間はイルミスイッチ連動で昼より1段階減光します。(夜間、減光キャンセル機能付き)

Defi-Link Meter専用の特長

1. LED照明

- ・ 夜間照明は、視認性に優れる緑色透過文字板と赤色発光指針を採用。

Defi-Link Control Unit II 専用の特長

1. Defi-Link Meter BF、Defi-Link Meterを最大7台まで集中操作

- ・ コントロールユニットⅡとメーターにマイコンを装備したことで、全てのメーター操作はコントロールユニットⅡに集中。速くのメーターも手元で操作可能。

- ・ Defi-Link Meter BFとDefi-Link Meterとのデジチェーン接続は、できません。

2. サーキット走行を完全再生、3分間メモリーリプレイ機能

- ・ 取り付けられたメーター各々が、同時に、走行中の車両データを最大3分間メモリーし、リアルに再現。

- ・ リプレイ中の「ポーズ」、「コマ送り」、「倍速再生、巻戻し」が可能。

3. エンボス加工と操作音による確かな操作感

- ・ スイッチパネルをエンボス加工し、高級感を持たせると同時に、スイッチを押したときにプザー音で操作したことを認識可能。

4. 夜間でも見やすい、文字、リングの白色照明

- ・ 夜間では、スイッチの文字及びリングが白く光り、暗闇でも昼間と同じ操作性を確保。

5. 音と光で警告するダブルワーニング

- ・ メーター内ワーニングLED点灯と同期して、プザー音でも警告。

6. マスターワーニングによる集中管理機能

- ・ 別売のDefi-Link インジケーターをM-WARNINGカブラーに接続すれば、接続されているメーターのいずれかのWARNING LED点灯時にインジケーターが点滅し、マスターワーニングインジケーターとして利用可能。

7. 差圧表示機能

- ・ 燃圧計とターボ計を同時接続することにより、燃圧計がターボ計との差圧表示します。

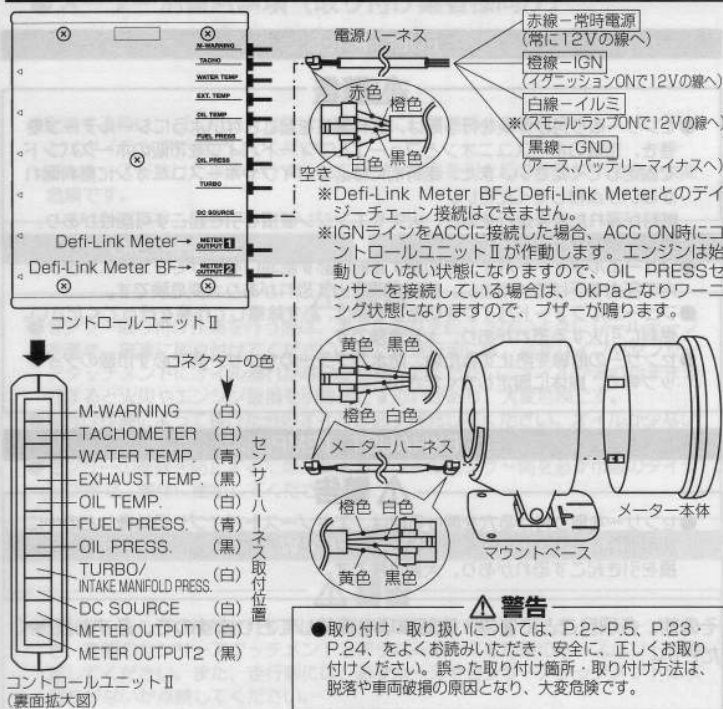
主な仕様 (Link System MAX値)

電源電圧	消費電流
DC10~15V(12V車専用)	+B(IGN ON) MAX(7台) 2.5A

8

●配線全体図 (取り付け業者様向け)

配線全体図



確認

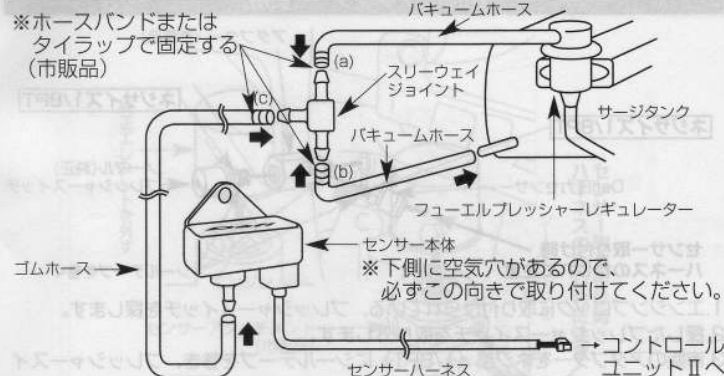
- コントロールユニットⅡの側面に記載されているセンサーの種類と合ったセンサーハーネス
 のカブラーを差し込んでください。間違えて差し込んだ場合、正常な動作はできません。
- カブラーを抜く際は、カブラーのロックを確実に押してから抜いてください。
- INTAKE MANIFOLD PRESS.のセンサーは、TURBO (白) に差し込んでください。

25

●センサーの取り付け方法 (取り付け業者様向け)

TURBO.

INTAKE MANIFOLD PRESS.



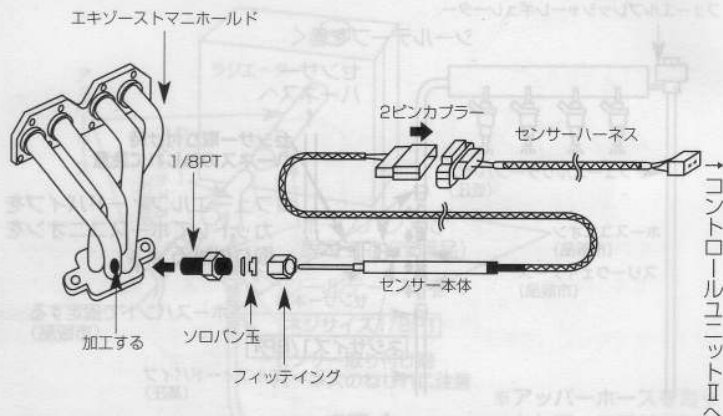
1. センサーを付属のゴムホースができるだけ短くなるように、エンジンル
 ム内 (振動、熱のない場所) にボルト (M6) など固定します。
2. 吸気圧は、サージタンクとフューエルプレッシャーレギュレーター間から
 取ります。
 ①脈動の少ないサージタンク側のバキュームホースを外し、スリーウェイ
 ジョイント(b) [または(a)] と接続します。
 ②サージタンクとスリーウェイジョイント(a) [または(b)] をつなぐのに必
 要な長さを、付属のゴムホースより切って使用します。(付属のゴムホ
 ースがサージタンクの径と合わない場合は、バキュームホースを途中で
 切断してご使用ください。)
- ③残った付属のゴムホースで、センサーとスリーウェイジョイント(c)を接
 続します。

確認

- センサーは、付属のゴムホースとの接続部分が確実に下向きになる様に取り付けてください。
- 付属のゴムホースの長さは500mmなので、その範囲で調整してください。
- サージタンクとフューエルプレッシャーレギュレーターの間にソレノイドバルブがある
 車種は、ソレノイドの手前にスリーウェイジョイントを付けてください。

26

EXHAUST TEMP.



1. フィッティングをバラし (中のソロバン玉を紛失しないように注意する)
 1/8PTのタップでネジ山を刻んだ所へ取り付けます。
2. センサー本体へ袋ネジとソロバン玉を通してフィッティングへ取り付けま
 す。
 このときセンサーの先端部分 (5~20mm) が、エキゾーストパイプなどの
 内径の中心へ来るように調整してください。

警告

- センサーを取り付ける際は、エキゾーストパイプや過給機などの中に切削屑など
 を残さないでください。エキゾーストパイプや過給機、エンジンの破損を引き起
 こす恐れがあり大変危険です。

31

※Defi-Link Meter BFにTACHOMETERはありません。

TACHOMETER

1. 気筒数設定方法

(初期設定されていませんので、コントロールユニットⅡ左側面の気筒数切換スイッチ
 を使用エンジンに合わせてセットします。3,4,5,6,8気筒以外の設定をした場合
 は、タコメーターがP49の「短絡 (ショート) チェック機能」と同じ動作をします。)

気筒数	スイッチ位置
3	1 2 3 4
4	1 2 3 4
5	1 2 3 4
6	1 2 3 4
8	1 2 3 4

気筒数
 切換
 スイッチ

コントロールユニットⅡ

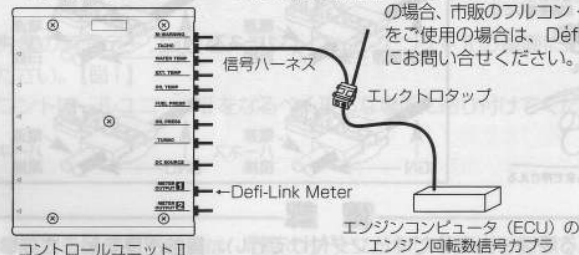
気筒数切換スイッチ
 (OFF) (ON)

取り付ける車の気筒数に、ボールペン
 などを使って合わせてください。

※ロータリーエンジンの気筒数設定の際は2ローターは4気筒、3ローターは6気筒
 に気筒数切り換えスイッチで設定してください。

2. 信号ハーネスの取り付け方法

※エンジンコンピュータ (ECU) の設置場所とエンジン回転数信号 (TA) の位置に
 ついては、DéfiホームページまたはDéfi取り付けマニュアルをご覧ください。
 ※純正装備のタコメーターを取り外した場合、または日産・三菱のタコメーターなし車
 の場合、市販のフルコン・点火システム
 をご使用の場合は、Défiお客様相談室
 にお問い合わせください。



※ハンダ付けのやり方、エレクトロタップの使い方については、P33をご覧ください。

32

●取り付け最終確認項目（取り付け業者様向け）

警告

- 最終仕上げとして、以下の項目を必ず実施してください。さもないと、
重大な事故が発生する恐れがあります。

- 取り付けた配管が確実に接続され、配管の差し忘れや誤配線、及び液漏れ・排気漏れがないか確認してください。
- センサー本体やハーネスなどが、エンジンルーム内で作動装置（ラジエーターファン、スロットルボディなど）と干渉していないか確認してください。
- センサー本体やハーネスなどが、点火系装置（イグニッションコイル、ディストリビューター、プラグコードなど）を避けて配線されているか確認してください。
- メーター本体やハーネスなどが、運転の妨げにならないように、確実に固定されているか、もう一度確認してください。
- メーター取り付けの際に取り外した、車両側の内装、ハーネス類が元通りに戻されているか、もう一度確認してください。

警告

- 作業終了後は必ず、運転席やエンジンルームに何も無いことを確認してください。運転席の足下に使用した工具類などがあると、ブレーキペダルの下に挟まり、ブレーキ操作が出来なくなるなどの恐れがあり大変危険です。エンジンルームに使用した工具があるとエンジン破損の恐れがあり大変危険です。

- バッテリーのマイナス端子を、外れないようにしっかりと取り付け、ボンネットを確実に閉めてください。
- 以上で、すべての取り付け作業は終了です。

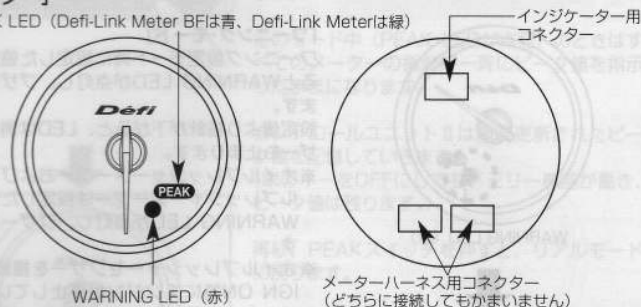
6. 操作方法（お客様向け）

次の注意事項をよくお読みの上、理解されてから本製品をご使用ください。

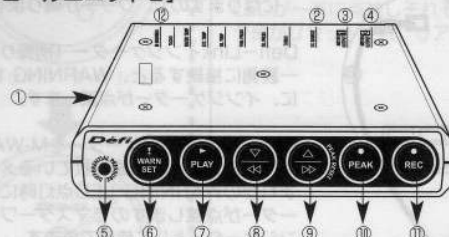
●各部の名称（お客様向け）

[メーター]

PEAK LED (Defi-Link Meter BFは青、Defi-Link Meterは緑)



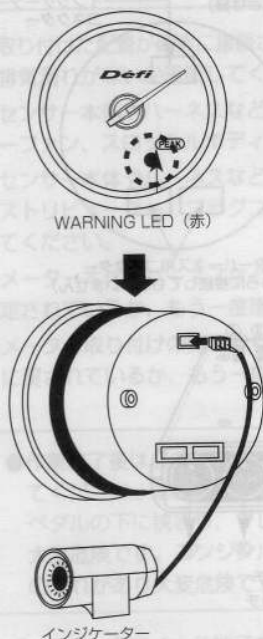
〔コントロールユニットⅡ〕



- ①気筒数切換スイッチ
②電源ハーネス用コネクター
③メーターアウトプット1用コネクター
④メーターアウトプット2用コネクター
⑤燃圧表示モードLED
⑥WARNINGスイッチ
⑦PLAYスイッチ
⑧DOWNスイッチ
⑨UPスイッチ
⑩PEAKスイッチ
⑪RECスイッチ
⑫マスターワーンイングインジケータ接続コネクター

Defi-Link Meterは③メーターアウトプット1用コネクタに接続
Defi-Link Meter BFは④メーターアウトプット2用コネクタに接続

●モードの説明（お客様向け）



「リアル・モード」

指針がリアルタイムに車の状態を指示します。
同時にピーク値をコントロールユニットⅡ内に
記憶します。

「ワーニング・モード」

ワーニング設定モード時に設定した値以上になるとWARNING LEDが点灯し、ブザーが鳴ります。

設定値より指針が下がると、LEDは消灯し、ブザーも止まります。

※オイルプレッシャーメーターおよびフューエルプレッシャーメーターは設定した値以下でWARNING LEDが点灯し、ブザーがなります。

※オイルプレッシャーセンサーを接続すると、IGN ON時にエンジンが停止している場合、メーター指示がOkpaとなりワーニング状態になりますので、ブザーが鳴ります。

Defi-Linkインジケーター（別売り）をメーター裏側に接続すると、WARNING LED点灯時に、インジケーターが点滅します。

Defi-LinkインジケータをM-WARNING端子に接続すると、接続されているメーターのいずれかのWARNING LED点灯時に、インジケータが点滅しますのでマスターワーニングインジケータとして使用できます。

※インジケータはφ80、φ115メートルには標準装備ですが、φ52、φ60、Defi-Link Meter BFは別売りとなります。



「ピーク・モード」

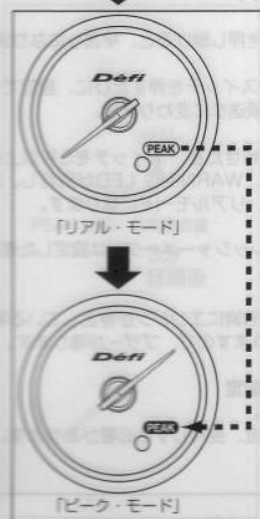
コントロールユニットⅡのPEAKスイッチを押すとPEAK LEDが点灯し、ピークモードになります。

このモード中（PEAK LEDが点灯）のときはすべてのメーターの指針が一斉にピーク値を指示したままになります。

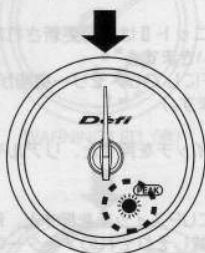
コントロールユニットIIは随時更新されたピーク値を記憶していきます。
(車のキーをOFFにしてもメモリー機能が働き、ピーク値は残ります。)

再び、PEAKスイッチを押すと、リアルモードに戻ります。

ピークモード中にUPスイッチを押すと、PEAK LEDが一斉に点滅しそれぞれのメーターのピーク値がリセットされ、リアルモードに戻ります。



警告 △



「ワーニング設定・モード」

「ワーニング設定・モード」

コントロールユニットIIのWARNINGスイッチを押すとすべてのメーターのWARNING LEDが一齐に点滅してワーニング設定モードになります。設定できるメーターは、LEDの点滅が早くなります。

※点滅が遅いメーターはワーニング設定ができません。
あとはUPスイッチで上昇、DOWNスイッチで下降させ、そのメーターのワーニング値を設定します。

※スイッチを押し続けると、早送りになります。

WARNINGスイッチを押すたびに、設定できるメーターが順送りに変わります。

設定値をあわせた後、スイッチを5秒以上操作しなければ、WARNING LEDが消灯し、設定終了となり、リアルモードになります。

※オイルプレッシャーメーターおよびフューエルプレッシャーメーターは設定した値以下でWARNING LEDが点灯し、ブザーがなります。

※オイルプレッシャーセンサーを接続すると、IGN ON時にエンジンが停止している場合、メーター指示がOkpaとなりワーニング状態になりますので、ブザーが鳴ります。

※インテーク・マニホールド・プレスのワーニング設定

初期値は、メーター指示振り切れ状態となります。
設定値が変化するまでDOWNスイッチを13秒程度、長押しする必要があります。

警告

- 走行中の設定は非常に危険です。
車が停車している状態で設定してください。



PEAK LED 等間隔点滅

3分経過後



「リアル・モード」

「リプレイ・モード」

取り付けられたメーター各々が、同時に、走行状態を最大3分間記録・再生します。

記録

コントロールユニットIIのRECスイッチを押すとすべてのメーターのPEAK LEDが等間隔点滅して、最大3分間の走行状態 (各々のメーター指示) を記録します。



3分経過すると、PEAK LEDの等間隔点滅が停止してリアルモードに戻ります。

3分経過する前に記録を終了させたい時はRECスイッチを押すとPEAK LEDの等間隔点滅が停止してリアルモードに戻ります。

再生中にUPスイッチ、もしくはDOWNスイッチを短く (0.5秒未満) 押すと、ポーズ状態になります。ポーズ中はPEAK LEDが再生時とは異なる等間隔点滅します。



「再生中」

再生

コントロールユニットIIのPLAYスイッチを押すと、すべてのメーターのPEAK LEDが同時に等間隔点滅して、記録したデータの再生を開始します。

警告

- 走行中の設定は非常に危険です。
車が停車している状態で設定してください。

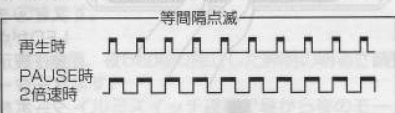


「再生中」



「PAUSE」

再生中にUPスイッチ、もしくはDOWNスイッチを短く (0.5秒未満) 押すと、ポーズ状態になります。ポーズ中はPEAK LEDが再生時とは異なる等間隔点滅します。



UPスイッチ、もしくはDOWNスイッチを押し続けている間は2倍速再生/戻しを行います。2倍速中はPEAK LEDはポーズ中と同じ等間隔点滅をします。スイッチを放すとポーズ状態になります。

ポーズ中にUPスイッチもしくはDOWNスイッチを短く押すと (0.5秒未満)、押すごとにコマ送りもしくはコマ戻しを行います。

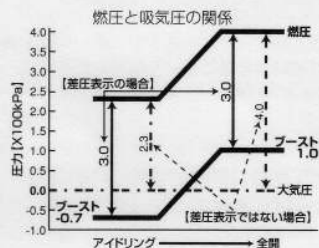
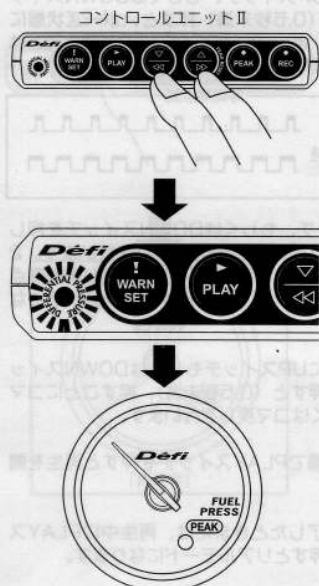
ポーズ状態でPLAYスイッチを押すと再生を開始します。

再生が終了したときまたは、再生中にPLAYスイッチを押すとリアルモードになります。

「差圧表示・モード」

コントロールユニットⅡにターボセンサーとフューエルプレッシャーセンサーを接続している場合、リアルモード中にUPスイッチとDOWNスイッチを同時押しすると、差圧表示モードになります。差圧表示モードでは、フューエルプレッシャーメーターの指示がフューエルプレッシャーからターボを引いた圧力値になります。

再度UPスイッチとDOWNスイッチを同時押しすると差圧表示モードが解除されます。



燃圧の差圧表示について

一般的電子燃料噴射制御車では、燃圧は、プレッシャーレギュレーターという装置により、インテークマニホールド圧に対して燃圧が一定になるよう設定されています。左記の図で燃圧を300kPaで設定した場合、差圧表示を行わない燃圧計では、ブースト100kPaの時400kPaを表示します。差圧表示を行うと、300kPaと表示されます。

「調光機能」

Defi-Link Meter BFメータのみの機能

リアルモード中にUPスイッチ、DOWNスイッチを押すとDefi-Link Meter BFの明るさが調整できます。

昼5段階、夜5段階の独立した照明の明るさ調整ができます。また、イルミスイッチ連動で昼から夜のモードに切り換わります。

さらには、夜間モード時でもUPスイッチを数回押すと、昼間の最高の明るさにできるイルミキャンセル機能があります。昼間のトンネル走行や夕暮れ時などに有効です。



●チェック機能の説明（お客様・取り付け業者様向け）

⚠ 警告

- エンジン始動後、必ずメーターをチェックしてください。万一異常を発見できずに発進させると大事故の恐れがあります。

指針が動作して、照明、PEAK LED、WARNING LED が点灯することにより、動作の確認が出来ます。



点滅

「断線オープンチェック機能」

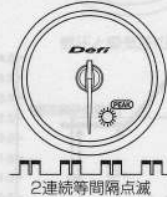
この機能は、センサー及びセンサーハーネスの断線、配線抜け、誤配線があった場合を知らせるものです。指針は真下を示し、WARNING LED が点滅します。
※電源ハーネス及び、Defi-Link Meter TACHOMETERの信号ハーネスの断線は、チェックできません。



等間隔点滅

「短絡（ショート）チェック機能」

この機能は、センサー及びセンサーハーネス上のどこかで短絡（ショート）があった場合及びP35のエンジンの気筒数設定が正確にセットされない場合を知らせるものです。指針は真下を示し、WARNING LED が等間隔点滅します。
※電源ハーネス及び、Defi-Link Meter TACHOMETERの信号ハーネスの短絡は、チェックできません。



2連続等間隔点滅

「シリアルエラー機能」

この機能は、メーターとコントロールユニット間のどこかで通信が出来なくなった場合を知らせる機能です。指針は真下を示しWARNING LEDが2連続等間隔点滅します。

※オープニングモード時に、φ115メーターの指針は、φ52、φ60、φ80より早く動きますが、異常ではありません。

7. 故障かな？と思ったら…(トラブルシューティング)(お客様・取り付け業者様向け)

⚠ 警告

- メーターに異常を感じたら、必ず点検をして異常がないことを確認してください。さもないと、重大な事故が発生する恐れがあります。

そのうえで以下の表を参考に、もう一度、確認してください。

症 状	考えられる原因	対処方法
・メーター指示値が、全体的に低い。 ・イグニッションキーONでターボメーターもしくはインマメーターのゼロ点がズレている。	・アースがバッテリーのマイナス端子に確実に取り付けられていない。 ・配線を誤って取り付けている。	・電源ハーネスのアース線を延長加工して、バッテリーのマイナス端子に確実に取り付けてください。 ・27ページを参照して、配線をやり直してください。
・タコメーターのピーク値が異常な値を示す。	・IGNがACCに接続されている。	・イグニッションONで12Vの線に接続されているか確認してください。
・ワーニング設定値とは異なった値で、ワーニングLEDが点灯する。 ・針が異常な値を示す。	・各ハーネス類が点火信号、無線等のノイズを拾っている。	・ノイズ等が発生しやすい場所を避けて、センサーハーネスを引き直してください。
・ワーニングLEDが点滅する。	・配線がどこかで短絡（ショート）している。 ・配線が外れているか、断線している。 ・センサーハーネスのカブラーが別のコネクタに入っている。	・配線がボディなどに接触していないか確認してください。 ・カブラーが外れたり配線が断線していないか確認してください。 ・センサーハーネスのカブラーが正しい位置に入っているか確認してください。



症 状	考えられる原因	対処方法
・ Defi-Link Meterの照明が、イルミスイッチ連動でOFFしない。	・ Defi-Link Meterをメーターアウトプット2のラインに接続している。	・ Defi-Link Meterはメーターアウトプット1のラインに接続してください。
・ Defi-Link Meter BFの輝度調整ができない。 ・ Defi-Link Meter BFの照明がつかない。	・ Defi-Link Meter BFをメーターアウトプット1のラインに接続している。	・ Defi-Link Meter BFはメーターアウトプット2のラインに接続してください。
・ エンジンをかけていないのにオイルプレッシャーメーターがワーニング状態になる。	・ 正常動作です。	・ 一般的にエンジンをかけていないとオイルプレッシャーは0kPaですので、ワーニング状態となります。
・ タコメーターが正常に動作しない。	・ コントロールユニットの気筒数切換スイッチが間違っている。 ・ タコメーターをメーターアウトプット2のラインに接続している。	・ 32ページを参照して気筒数設定をやり直してください。 ・ タコメーターをメーターアウトプット1のラインに接続してください。

8. アフターサービスについて（お客様・取り付け業者様向け）

本製品を使用されて発生した違反、事故などに関するもの、誤配線など本製品の、製造不良以外による車両トラブルについては一切責任を負いかねます。

【保証書】

本製品は保証書の内容に従って保証されていますので、よくお読みになり記入事項をご確認の上、大切に保管してください。

【保証期間】

ご購入から1年です。詳細は保証書規定をご覧ください。

【修理をご依頼される時】



警告

●危険ですからご自分で修理しないでください。故障や事故の原因となるだけでなく、保証の対象外となります。

- ①修理をご依頼される前にこの取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の表に従って調べていただき、それでも直らない時は②の処理をしてください。
- ②「ご購入いただいた販売店」にご相談ください。転居などで販売店への依頼が困難な場合は、日本精機（電話番号は、保証書内に記載）にご相談ください。
※保証期間中の場合、修理品には必ず保証書を添付してください。
※保証期間中であっても、修理品の輸送にかかる運送費はお客様のご負担となります。
※故障と思われる症状、車種（年式、型式）、販売店名などをできるだけ詳しくお書きください。